



アスファルト舗装の加熱注入式クラックシール材

# RC加熱シーラー



## ● RC加熱シーラーとは

アスファルトに特殊熱可塑性エラストマー等をブレンドした加熱注入式クラックシール材です。

アスファルト舗装のクラックに注入・充填することで、雨水の浸透を防止し、舗装の破壊を予防します。

RC加熱シーラーは低弾性と高弾性の2つのタイプがございます。

低弾性と高弾性  
2タイプ

## ● RC加熱シーラーの特徴

- 浸透性に優れ、クラック深部に浸透するため、止水を確実にします。
- 既設アスファルト混合物との接着性や追従性に優れています。
- 耐熱性に優れ、再加熱しても極端な物性の低下がありません。
- 盛夏期においても表面はベタつきません。
- 高弾性タイプは低温可とう性に優れ、冬季におけるクラックの発生を抑制します。



● 内容量: 15kg/箱



東亜道路工業株式会社

<http://www.toadoro.co.jp>



## 注入施工状況



清掃工



注入工



均し工



付着防止工

注) RC加熱シーラーは、コンクリート舗装のクラックにも適用できます。

# RC加熱シーラーの施工

- 1

準備

RC加熱シーラーを箱から取り出し、溶解釜で溶解し、注入温度まで加熱します。
- 2

清掃

エアコンプレッサ等を使用し、クラック内部のゴミやホコリを除去します。
- 3

注入

加熱溶融したRC加熱シーラーをクラックに注入します。推奨注入温度は200℃です。上限加熱温度230℃とします。
- 4

整形

凸部のないように金属製のコテなどで直ちに均します。
- 5

付着防止

石粉あるいは珪砂を速やかに散布します。
- 6

養生

常温に下がるまで養生します。
- 7

交通開放

交通開放します。

## RC加熱シーラーの代表性状

試験項目		低弾性	高弾性	試験方法
		基準値	基準値	
針入度(円すい針)	mm	6以下	9以下	舗装・調査試験法便覧
軟化点	℃	80以上	100以上	
弾性初期貫入量	1/10mm	—	5以上 15以下	
弾性復元率	%	—	60以上	
流れ	mm	5以下	3以下	
引張量	mm	3以上	10以上	
浸透性(200℃)	mm	50以上	25以上	
曲げ仕事量(-10℃)	kPa	—	700以上	
曲げスティフネス(-10℃)	MPa	—	30以下	
密度	g/cm <sup>3</sup>	報告	報告	
不粘着性(60℃)		付着しないこと	付着しないこと	FS-SS-S-200E

## 東亜道路工業株式会社

本社 〒106-0032 東京都港区六本木7-3-7	TEL03(3405)1811(代)
技術研究所 〒300-2622 茨城県つくば市要315-126	TEL029(877)4150(代)
北海道支社 〒007-0825 札幌市東区東雁来五条1丁目1-18	TEL011(781)8511(代)
東北支社 〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-3-20 東日本不動産仙台一番町ビル	TEL022(225)6591(代)
関東支社 〒106-0032 東京都港区六本木7-3-7	TEL03(3423)0231(代)
中部支社 〒461-0011 名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル5F	TEL052(962)1831(代)
関西支社 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-13-13 西本町中央ビル5F	TEL06(6585)7580(代)
中四国支社 〒732-0052 広島市東区光町2-14-16	TEL082(568)2951(代)
九州支社 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-8-31 九州ビル6F	TEL092(471)6936(代)